



# 「新生ふくしま」の実現に向けて～復興の軌跡～(1/2)

令和8年7月21日  
新生ふくしま復興推進本部

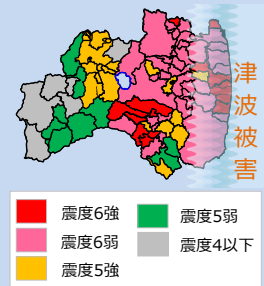
資料 3 - 3

福島県企画調整部  
復興・総合計画課  
(TEL)024-521-7109  
新生ふくしま 検索

2026.7.21

## 被害状況

### ◆県内各地の震度



2011年3月11日に発生した「平成23年東北地方太平洋沖地震」はマグニチュード9.0を記録。国内観測史上最大級の地震。地震・津波の被害とともに原子力災害が発生し、周辺住民が避難することとなった。

#### ◆地震被害

地震被害：須賀川市

#### ◆津波被害

津波被害：浪江町

#### ◆原子力災害

事故前の様子

#### ◆原子力災害

原子力災害：1号機建屋水素爆発 (2011.3.12)

#### 人的被害

【2026年5月1日現在】  
■死者 4,182人(うち震災関連死:2,351人)

#### 家屋被害

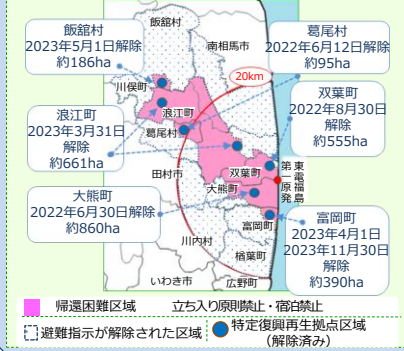
【2026年5月1日現在】  
■全壊 15,600棟 ■半壊 87,368棟

福島第一原子力発電所では、地震と津波の影響により、非常用電源を含む全ての電源が使用不可となり、原子炉の冷却機能を喪失。原子炉が損傷した結果、大量の放射性物質が大気中に放出され、周辺住民が長期間の避難を余儀なくされる事態となった。

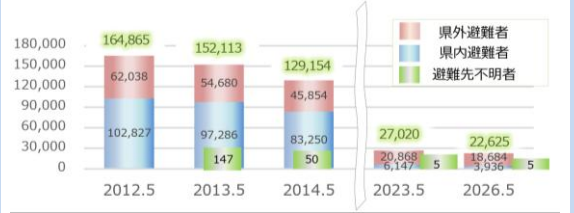
## 避難等の状況

帰還環境の整備により避難指示の解除が進む。  
県内外の避難者数は最大約16万人から約2万3千人まで減少。

### 避難指示区域・特定復興再生拠点区域における避難指示の解除



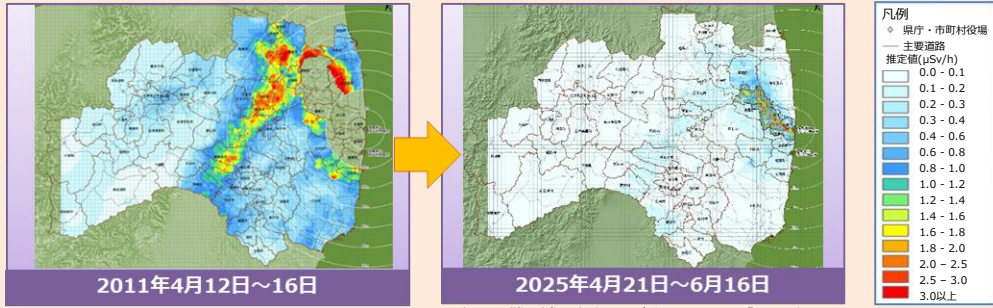
### ◆避難者の推移



◆特定復興再生拠点区域とは  
2017年5月に福島復興再生特別措置法が改正され、帰還困難区域のうち、避難指示の解除による住民の帰還及び移住等を目指すために設けられた区域。2023年11月までに全ての避難指示が解除された。

## 環境の回復

### ◆福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果等に基づく空間線量率マップ



大熊町 双葉町

中間貯蔵施設：2015.3 搬入開始

南相馬市

環境放射線センター：2015.11 供用開始

三春町

環境創造センター：2016.7 全面供用開始

除染：2023.12

特定帰還居住区域の除染開始  
出典：「環境省除染アーカイブサイト」

## 公共インフラの整備

復興を支えるふくしま復興再生道路や、堤防、防災緑地などの公共インフラの整備が進む。

県道吉間田滝根線 (ふくしま復興再生道路) (広瀬工区)  
2024年4月13日 開通

小名浜道路 (ふくしま復興再生道路)  
2025年8月7日 開通

いわき市：海岸堤防

新地町：釣師防災緑地公園

## 再生可能エネルギーの推進

再生可能エネルギー先駆けの地を目指し、再エネの導入拡大、水素社会の実現に向けた取組などが進む。

### ◆再生可能エネルギー導入目標 (2040年頃に100%を目指す。)

#### 再生可能エネルギーの導入実績 (原簿換算)

※「再生可能エネルギー導入率」は、福島県再生可能エネルギー導入率(2023年)を100%として算出。2020年度までは「再生可能エネルギー」(2021年度以降は「再生可能エネルギー」)として算出。

#### 研究拠点

産業技術総合研究所  
福島再生可能エネルギー研究所

#### バイオマス

グリーン発電会津  
木質バイオマス発電所

#### 風力

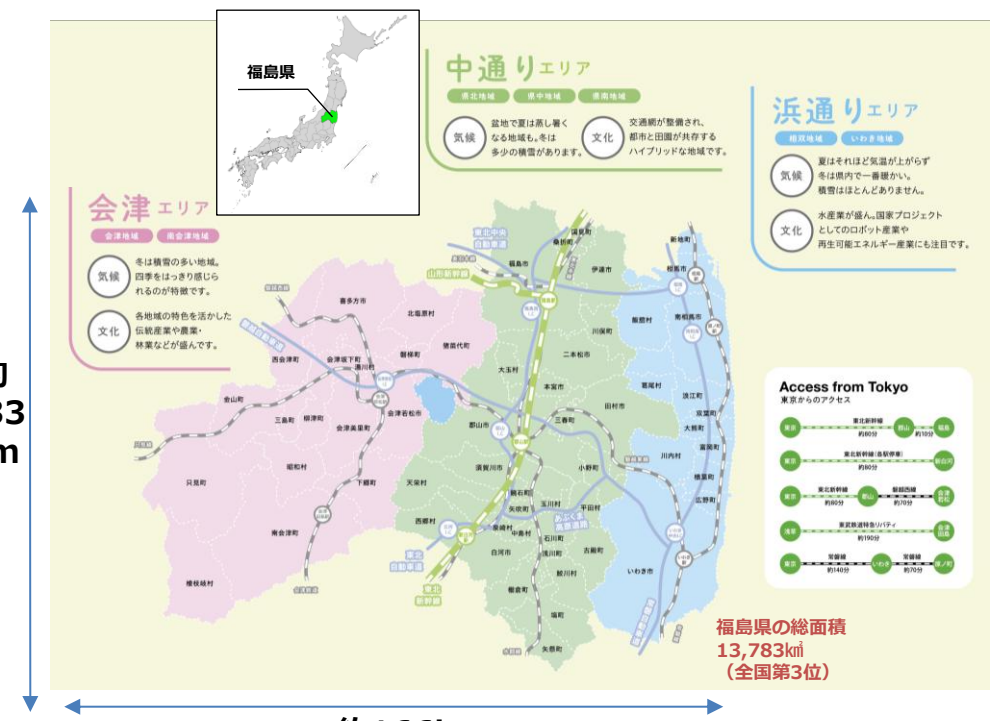
郡山布引高原風力発電所

#### 太陽光

ペロブスカイト太陽電池

#### 水素社会の実現に向けた東京都との連携協定

水素インフラ整備  
水素ステーション



## 生活環境の整備・移住の促進

避難している方々の帰還環境の整備を進めるとともに、関係人口・交流人口の拡大や移住・定住の促進に取り組む。

双葉町：MEMEGURU FUTABA

双葉町：駅西住宅

ふくしま 2市町村移住支援センター  
東京サテライト開所式の様子

富岡町：ふたば医療センター附属病院

大熊町：学び舎ゆめの森

「移住モニターツアー」の様子

## 福島イノベーション・コースト構想の推進

浜通り地域等の失われた産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト。福島イノベーション・コースト構想推進機構が、構想の具体化に向けた中核的な役割を担っている。2023年4月1日に、構想を更に発展させる役割も期待される福島国際研究教育機構 (F-REI) が浪江町に設立。

#### ◆6つの重点分野

##### I 廃炉

JAEA福島遠隔技術開発センター

##### II ロボット・ドローン

福島ロボットテストフィールド

##### III エネルギー・環境・リサイクル

福島水素エネルギー研究フィールド

##### IV 農林水産業

ICTやロボットの活用

##### V 医療関連

ふくしま医療機器開発支援センター

##### VI 航空宇宙

航空宇宙関連産業の集積

#### ◆福島国際研究教育機構(F-REI)

2025.4 福島国際研究教育機構起工式

F-REI施設整備イメージ図  
日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

## 農林水産業の状況

輸出状況は震災前に比べ増加しており、2024年度は過去最高の輸出量に。一方で、県産農産物の価格は回復傾向にあるもの、全国との価格差がまだ回復していない品目がある。

#### ◆農産物の輸出状況 (kg)

米、もも等の輸出量増加！

震災後約9割減

#### ◆主な農産物価格の推移と全国との価格差

| 品目       | 単位   | 震災前 (2010) | 震災時 (2011) | 現在 (2024) |
|----------|------|------------|------------|-----------|
| 米        | 円/kg | 483        | 406        | 699       |
| ぶどう      | 円/kg | 12,507     | 14,442     | 25,170    |
| 肉用牛 (和牛) | 円/kg | 1,784      | 1,622      | 2,325     |

#### ◆農林水産業の人材育成

アグリカレッジ福島 アグリ探求棟

林業人材育成のための研修

漁業就業者定着のための研修

## 観光・県産品の振興

コロナ禍以降は、観光客の入込数は回復。2024年度の県産品の輸出額が過去最高を更新。

#### ◆福島県観光客入込状況 (単位：万人)

震災前比 100.7%

#### ◆福島県産品の輸出額の推移 (単位：百万円)

2024年度 過去最高

#### ◆美しい自然

只見線 第一只見川橋梁

#### ◆ホープツーリズム

東日本大震災・原子力災害伝承館

#### ◆県産品の輸出促進

知事が欧州への県産品輸出拡大等に向けた連携協定を締結

令和7酒造年度全国新酒鑑評会で、福島県の酒20銘柄が金賞を獲得し、金賞受賞数日本一を達成！



- 2017.11 ●大熊町特定復興再生拠点区域復興再生計画 認定
- 2019.4 ●「帰還困難区域を除き避難指示解除」
- 2019.4 ●大熊原地区に役場新庁舎完成
- 2019.8 ●植物工場の「ネクスファームおおくま」いちごを初出荷
- 2020.3 ●J R常磐線大野駅 再開
- 2020.4 ●グループホーム「おおくま もみの木苑」開所
- 2021.2 ●大熊町診療所 開所
- 2021.10 ●商業施設「おおくまーと」宿泊温湯施設「はっと大熊」  
交流施設「link大熊」ランドオープン
- 2022.4 ●会津若松市にて小中一貫校の義務教育学校開校
- 2022.6 ●特定復興再生拠点区域避難指示解除
- 2022.7 ●起業支援施設「大熊インキュベーションセンター」オープン
- 2022.7 ●国道288号 野上小塚工区 開通
- 2023.4 ●大熊町立「学び野の森」(義務教育学校・認定こども園)開校
- 2023.9 ●大熊町特定復興再生拠点区域復興再生計画 認定 (2024.1)
- 2025.3 ●大野駅西に産業交流施設「CREVAおおくま」、商業施設「駅前広場にランドオープン」【写真】

